

報道関係者各位

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会『サイクリングしまなみ 2024』

×

『瀬戸内しまなみ海道開通25周年』連携企画

「25(ニジュウゴ)」エピソード 入選作品の決定！

サイクリングしまなみ 2024 の舞台となる“瀬戸内しまなみ海道”が今年5月に開通 25 周年を迎えることから、合わせてPRすることで大会を盛り上げるため、「しまなみ海道」と「25(ニジュウゴ)」にちなんだエピソードを募集し、審査の結果、入選作品 10 点が決定したのでお知らせします。



【募集結果概要】

- 主催 サイクリングしまなみ 2024 実行委員会
- 募集期間 令和6年2月16日(金)～3月31日(日)
- 募集内容 「しまなみ海道」と「25(ニジュウゴ)」の2つのキーワードを盛り込んだエピソード(400文字以内)
- 入選者特典 サイクリングしまなみ 2024 ペア出走権贈呈 10組〔2コース×各5組〕
・Bコース(尾道⇄生口島)×5組 ・Hコース(今治⇄大島)×5組
- 応募実績 計16点(愛媛8、広島2、大阪2、岡山1、島根1、長野1、千葉1)

【入選者一覧】

	応募者名	居住地	エピソードの概要
B コ ー ス	わかふじ すなお 若藤 惇	愛媛県	上島町内で勤務経験あり、夫婦の誕生日・入籍日が25日
	かやはら かずと 茅原 一斗	愛媛県	25年前、広島へ進学。結婚式準備でしまなみ海道を毎週往復していた
	ふくだ しんや 福田 真也	広島県	学生時代にしまなみ海道を自転車旅。往復250km、総時間25時間
	やなぎさわ えみ 柳澤 恵美	長野県	子供3人の年齢の合計24に、しまなみ海道を家族で訪れた回数1を足して25。しまなみ海道でのサイクリングは衝撃・感動
	にし しゅうさく 西 修作	島根県	カーブ新井監督(背番号25)のユニフォームを着てしまなみ海道を走りたい
H コ ー ス	すがの かつひろ 菅野 克弘	愛媛県	25年前、25歳の時にしまなみ海道を通過して地元今治へ帰り、家業を継いだ
	おだ しんいち 小田 真一	岡山県	結婚25周年。25ヵ月前にロードバイクを購入、憧れはしまなみ海道完走
	おかはら かずき 岡原 和輝	愛媛県	25歳の夏、亀老山展望台でプロポーズして結婚。夫婦で走りたい
	まつお えいこ 松尾 栄子	愛媛県	夫が25万円のロードバイクを気に入ったが、値段を理由に断念。子供が大きくなったら家族でしまなみ海道を一緒に走るのが夢
	まきもと せいこ 牧本 聖子	広島県	進学で生口島を出て本土で就職し25年が経過。帰郷時に瀬戸内の美しさを再認識

【その他】

入選作品(10点)は、今後、大会公式HPやSNS及び本州四国連絡高速道路株式会社HPや機関紙等で順次紹介していくなど、大会開催に向けた話題づくりと機運醸成を図ってまいります。入選者への取材等を希望される場合は、今治現地本部担当者までご連絡ください。

【連絡先】

サイクリングしまなみ 2024 実行委員会今治現地本部

電話：0898-23-2955 受付時間 9:00～17:00(土・日曜、祝日を除く)

